

【令和4年度 輸送の安全にかかわる教育年間計画】

イルカ交通株式会社

実施月	重点指導項目	教育内容	研修・講習	安全対策・健康管理
4月度	運転者指導監督指針研修 ①バスを運転する心構え (ドラレコ) 1.ドライブレコーダーの記録を利用した運転者の運転特性に応じた安全運転 2.ドライブレコーダーの記録を活用したヒヤリ・ハット体験等の自社内での共有	1.バス事故の特徴 2.事故の重大性の認識 3.事故を起こさない信念 4.ドラレコ解析・指導・教育 5.ヒヤリ・ハット	1.緊急事態想定訓練 2.消火器、発煙筒取り扱い方法 3.高速バス実車監督(個別) 適性診断2名	1.安全全体会 2.春の全国交通安全運動 のぼり設置 3.非常事態時の緊急連絡網見直しと確認 4.異常気象や災害時に対する初動対応等見直しと確認 5.安全対策委員会
5月度			1.車両整備研修 2.貸切バス路線研修	1.構内安全点検
6月度	運転者指導監督指針研修 ②バスの運行の安全、乗客の安全を確保するために遵守すべきこと ④乗車中の乗客の安全を確保するために留意すべき事項 ⑤乗客が乗降するときの安全を確保するために留意すべき事項	1.バスの点検、車両のチェックの必要性 2.自動車の運転に係わる法令 3.安全な速度と十分な車間距離を保つ 4.乗客の状況確認 5.乗降時の乗客の安全確保 6.貸切バスの乗降時の注意 7.高齢者・障害者の乗降時の安全の確保	適齢診断1名	1.食中毒予防と対策
7月度		1.高速バス乗務調査 2.乗務調査による乗務指導(個別)	1.運行管理者基礎講習	1.夏の交通安全県民運動 のぼり設置
8月度		1.貸切乗務内容指導(ツアー集客場所・危険個所)	1.運行管理者講習	1.熱中症予防と対策
9月度	運転者指導監督指針研修 ③バスの構造上の特性 ⑥運行路線・経路における進路及び交通の状況 ⑦危険の予測及び回避並びに緊急時における対処方法 ⑧運転者の運転適性に応じた安全運転	1.車幅の広さに配慮した運転 2.死角の大きさに配慮した運転 3.適切な運行経路の選択 4.情報に基づく安全運行のための留意点 5.予測運転について 6.適性診断について	1.交通事故対応訓練 2.急病人発生時 3.救命対応訓練	1.安全全体会 2.秋の全国交通安全運動 のぼり設置

10月度				1.工具室・車両ピット管理・機器類点検 2.エア・コンプレッサー点検
11月度			適齢診断1名 1.整備管理者選任後研修	1.インフルエンザ予防・対策 2.冬対策(融雪・滑り止め・除雪道具・除雪車)
12月度			適性診断1名 1.運行管理者講習 2.救命・救急講習(外部)	1.年末の交通安全県民運動 のぼり設置 2.生活習慣指導
R5/ 1月度	<p>運転者指導監督指針研修</p> <p>⑪安全性の向上を図るための装置を備えるバスの適切な運転方法 (ドラレコ)</p> <p>1.ドライブレコーダーの記録を利用した運転者の運転特性に応じた安全運転 2.ドライブレコーダーの記録を活用したヒヤリ・ハット体験等の自社内での共有</p>	<p>1.運転支援装置に係わる事故事例</p> <p>2.運転支援装置の性能及び留意点</p> <p>3.ドラレコ解析・指導・教育</p> <p>4.ヒヤリ・ハット</p>	<p>1.スキーバス研修(チェーン装着など)</p> <p>2.非常口開閉操作・乗客誘導手順</p> <p>3.安全運転研修(外部)</p> <p>4.安全マネジメント研修(外部)</p>	<p>1.安全全体会</p> <p>2.健康診断(乗務員)</p>
2月度			1.整備管理者選任前研修	1.健康診断(内勤者)
3月度	<p>運転者指導監督指針研修</p> <p>⑨交通事故に関わる運転者の生理的及び心理的要因とこれらの対処方法</p> <p>⑩健康管理の重要性</p>	<p>1.交通事故の生理的・心理的要因</p> <p>2.労働時間についての規定</p> <p>3.飲酒や薬物による運転防止のための留意点</p> <p>4.ヒューマンエラーを防ぐために</p> <p>5.健康管理のポイント</p>	1.安全教育研修会(外部)	<p>1.適正診断受診年間計画</p> <p>2.健康診断追跡調査・再検査の指示・確認</p> <p>3.安全マネジメント</p> <p>4.内部監査</p> <p>5.指導・監督年間総まとめ・年間計画作成</p>